

自動体外式除細動器
(AED)の設置につ
いて



弓座 秀之 議員

質問…本市の設置状況について伺います。

答弁…AED、自動体外式除細動器とは、突然心臓が正常に拍動できなくなった心停止状態の心臓に対し、電気ショックを与え、心臓を正常なリズムに戻すための医療機器で、平成16年7月から医療従事者でない一般の方も使用できる様になりました。本市では平成17年度からAED

Dの設置を進め、設置箇所は、市の関連施設で40箇所、全小中学校で29箇所、全保育園、幼稚園で23箇所、全学童保育館で17箇所、その他独自に設置している事業所等で公表してもよいと了解を頂いている事業所が52箇所、市内全域で合計161箇所です。また、貸出用AED2台を所有しており、イベントや行事等へ貸出しを行っています。

Dの設置を進め、設置箇所は、市の関連施設で40箇所、全小中学校で29箇所、全保育園、幼稚園で23箇所、全学童保育館で17箇所、その他独自に設置している事業所等で公表してもよいと了解を頂いている事業所が52箇所、市内全域で合計161箇所です。また、貸出用AED2台を所有しており、イベントや行事等へ貸出しを行っています。

質問…AED設置施設であるというような表示は。

答弁…設置施設の状況を考慮しながら施設の管理者と協議を進めて、表示をしてまいります。また、地区内の設置場所につきまして、設置場所を知っていたく意味からも各地区の公民館などにAEDの設置場所を示したマップ等を掲示して周知を図ってまいります。

一般質問



秋山 幸子 議員

大田原市と
国際医療福祉大学と
の連携協定について

質問…本市と国際医療福祉大学との間に、平成21年11月18日連携協定を結んでいます。連携体制の整備で具体的にはどのような取り組みがあるか伺います。

答弁…意見交換の懇談会も年1回開催しています。八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョン懇談会等の委員委嘱ほか、高齢者スクール、認知症カフェなどの大学の特徴を生かし、今年度は

52の事業を実施しています。

質問…国際医療福祉大学の先生方は、東京駅から新幹線で那須塩原駅まで来て、シャトルバスで大学まで来ています。市が、土地の分譲やセカンドハウスとして空き家対策などを活用出来ないか。また、大学が持っている教材映画などを、子どもたちが視聴できる機会を作るなど、協力を求められないか伺います。

答弁…先生方に土地の分譲とか、大学の教材映画を上映するなど、子どもたちに開かれた大学として、やって頂けると確認してよいか伺います。

答弁…大学との知的財産・人的財産の活用について、今後とも定期的な意見交換で対応してまいります。

質問…先生方に土地の分譲とか、大学の教材映画を上映するなど、子どもたちに開かれた大学として、やって頂けると確認してよいか伺います。

答弁…その方向で今後とも取り組んでまいります。